

### 第34回日本保健医療社会学会大会プログラム

<第1日目 5月17日(土)> 受付開始 8:30~

#### 1. 一般演題セッション(各発表:12分、質疑応答:8分)

第1日目:5月17日(土)9:30~11:30

会場1「看護師・医師」

教室 208

座長 三井さよ(法政大学)

1. 女性医師のキャリア選択とその背景 part2--各ライフステージにおける選択を中心に--
  - 新潟青陵大学 早坂 裕子
2. 臨床看護師の倫理的ジレンマの対処行動とTEGとの関連
  - 昭和大学保健医療学部看護学科 菅原 スミ
3. 看護師離職モデルの検討 - Burnout 症状からみた質的分析 -
  - 山口県立大学大学院健康福祉学研究科 田中 マキ子
4. キャリア転換を促す要因について - 医師をめざす看護師へのインタビューをとおして -
  - 石川県立看護大学 看護学部 看護学科 阿部 智恵子

第1日目:5月17日(土)9:30~11:30

会場2「自己認識・セルフマネジメント」

教室 206

座長 溝田友里(国立がんセンター)

5. ホームレス支援にみる当事者の位置
  - 東洋大学人間文化総合研究所 渡辺 芳
6. 加齢と孤独に関する研究;男性の特徴
  - 香川県立保健医療大学 人見 裕江
7. 慢性疾患自己管理プログラム(CDSMP)にみるパラダイムシフト -受講者の病ある生活への向き合い方に及ぼす影響から-
  - 東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 健康教育・社会学教室 本間 三恵子
8. 人工呼吸器を装着するか否かに関する筋萎縮性側索硬化症患者の意思決定と心理的葛藤
  - 聖路加看護大学 平野 優子

第1日目：5月17日（土）9:30～11:30

会場3「健康生成論、健康指標」

教室 205

座長 朝倉隆司（東京学芸大学）

9. 働く人の Sense of Coherence と健康信念モデルとの関連要因の検討

○ 長崎県立大学大学院人間健康科学研究科看護学専攻、長崎百合野病院健診センター

竹末 加奈

10. 20～40歳の成人における sense of coherence の形成・規定要因及びそれらの間の関連性の検討

○ 山口大学大学院医学系研究科環境保健医学分野 戸ヶ里 泰典

11. 都市部における住民主体の健康づくり活動の効果に関する一考察

○ 札幌市立大学看護学部 保田 玲子

12. 高齢者健康指標からみた茨城県の健康水準

○ 茨城県立健康プラザ、首都大学東京大学院都市環境科学研究科 栗盛 須雅子

## 2. 大会長講演

第1日目：5月17日（土）11:40～12:30 教室 201

「都市の健康課題とヘルスプロモーションの推進」

星旦二（首都大学東京）

司会：園田恭一（新潟医療福祉大学、東京大学名誉教授）

## 3. シンポジウム

第1日目：5月17日（土）13:30～16:00 教室 201

「地域のエンパワーメント」

企画：櫻井尚子（弘前学院大学）

シンポジスト：

大木幸子（杏林大学）

櫻井尚子（弘前学院大学）

伊藤和子（多摩市保健師）

成木弘子（京都大学）

溝口幸夫（多摩市健康づくり推進員会長）

指定発言：佐々木峰子（元足立区主任保健師）

#### 4. 教育講演

5月17日(土) 16:10~17:00 教室 201

「医療制度改革の本質と展望」

二木 立(日本福祉大学社会福祉学部)

司会: 福田吉治(国立保健医療科学院)

<第2日目 5月18日(日)> 受付開始 8:30~

5. 一般演題セッション(各発表:12分、質疑応答:8分)

第2日目:5月18日(日)9:30~11:30

会場1「患者援助法」

教室 208

座長 野口裕二(東京学芸大学)

13. 「住民(患者)主体」の医療 - 京都・西陣の地域医療の実践から -

○ 京都大学大学院人間・環境学研究科 鮫島 輝美

14. 重度障害者の病院からの自立を阻む要因 - 病院から地域移行時の課題

○ 千葉大学大学院人文社会科学研究課博士前期過程2年 伊藤 佳世子

15. ホスピス・緩和ケア病棟における「ケア」 - ケア実践と実践を支える条件 -

○ 大阪大学大学院人間科学研究科 竹内 慶至

16. 介護施設内における高齢者虐待防止の実証研究 - 国保連合会「苦情処理」の取り組みから -

○ 首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 後期博士課程 松岡 智恵子

17. 特殊なニーズのある子どもの未就学きょうだいと母親を対象にしたワークショップの試行と評価

○ 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所 北村 弥生

第2日目：5月18日（日）9:30～11:30

会場2「医療と現代社会」

教室 207

座長 黒田浩一郎（龍谷大学）

18. 特別養護老人ホームにおけるターミナルケアの現状と課題

○ 川崎医療短期大学 田中 久美子

19. 新型インフルエンザ流行の社会不安を緩和する情報提供法の追求 - SARS の経験から新型インフルエンザ報道への提言 -

○ 近畿医療福祉大学 社会福祉学部 臨床福祉心理学科 勝田 吉彰

20. 薬害 HIV 感染長期生存血友病患者における事件発生から 10 数年を経た 1998 年から 2005 年までの健康・心理・生活面の変化とその要因

○ 東京大学大学院医学系研究科健康社会学 横山 由香里

21. 多文化社会におけるヘルスプロモーション

○ ハワイ大学マノア校社会学部博士課程 山口 綾乃

22. 社会階層、性差、地域差と歯科における保険外治療の選択要因

○ 東京医科歯科大学 医療経済学分野 五十嵐 公

第2日目：5月18日（日）9:30～11:30

会場3「精神医療・精神障害」

教室 206

座長 天田城介（立命館大学）

23. 精神障害者の訪問看護における他職種連携の困難

○ 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 林 裕栄

24. 精神障害者にとっての社会参加過程

○ 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 関根 正

25. 向精神薬への評価——1960年代から80年代の国内における肯定的評価と批判

○ 立命館大学大学院先端総合学術研究科 一貫性博士課程4回生 松枝 亜希子

26. 精神障害のある人が病い・障害の体験を地域で語る活動の意義

○ 大阪市立大学大学院生活科学研究科 清水 由香

27. 精神医療オンブズマン制度の Enabling 機能

○ 山梨学院大学法学部政治行政学科 竹端 寛

第2日目：5月18日（日）9:30～11:30

会場4「専門職」

教室 205

座長 檉田美雄（徳島大学）

28. カナダにおける介護職の養成課程の現状と課題

○ 玉野総合医療専門学校 徳山 ちえみ

29. 京都盲啞院における地域と学校の「つながり」考

○ 実践女子短期大学生活福祉学科 西脇 智子

30. 新人介護福祉士の語りの分析—資格取得後1年目の不満に着目して—

○ 宇都宮短期大学人間福祉学科 古川 和稔

31. 周産期における助産師のケアに対する—考察～助産院助産師のケアの分析から～

○ 宮崎大学医学部看護学科 小嶋 理恵子

6. 教育講演

5月18日（日）11:40～12:30 教室 201

「ストレス対処能力 SOC の保健医療社会的含蓄とチャレンジ」

山崎喜比古（東京大学大学院健康社会学）

司会：栗盛須雅子（茨城県立健康プラザ企画情報部、

首都大学東京大学院都市環境科学研究科非常勤講師）

## 7. ラウンドテーブル・ディスカッション

5月18日(日) 14:40～16:30

(1)「エンハンスメントの社会学・序説」  
企画：中川輝彦(龍谷大学)  
教室 205

(2)「看護職離職の構造的背景 長期的課題と今日的課題」  
企画：看護研究部会  
教室 203

(3)「ナラティブ・アプローチの現在」  
企画：野口裕二(東京学芸大学)  
教室 206

(4)「介護保険のビデオエスノグラフィー：要介護度決定過程の質的研究」  
企画：北村隆憲(東海大学) 榎田美雄(徳島大学)  
教室 207

(5)「地域包括支援センターの展望」  
企画：武田順子(元川崎市多摩区主任保健師)  
教室 208